#  平成３０年度山陰嗜癖行動研究会　記念講演会

お酒が私たちの生活に豊かさや潤いを与える一方で、不適切な飲酒は本人の健康問題に影響を与えます。更に本人の健康問題のみならず、飲酒運転、暴力、自殺などの様々な問題にも密接に関連してきます。

これに鑑み、平成２６年６月にアルコール健康対策基本法が施行され、国を挙げて具体的な取り組みが始まろうとしている今、アルコール依存症治療のあり方を今一度考える機会があればと思い講演会を企画しました。

この度の講演会では、薬物依存症・アルコール依存症、中毒性精神病において日本の第一線で研究に取り組み、大きな成果を上げておられ、臨床でも豊かな経験がある成瀬暢也先生をお招きしました。当日は関連領域の方のみならず、アルコール依存症に関心をお持ちのたくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

日　時　　　平成30年**6月30日(土)14:00～16:30（開場13：45）**

場　所　　　**いきいきプラザ島根　４０３会議室**

松江市東津田町1741-3　　　℡(0852)32-5911

内　容　　　テーマ「アルコール依存症治療革命」

講　師　**成瀬　暢也 先生（埼玉県立精神医療センター　副病院長）**

参加費　　　１,000円

申　込　　　別紙申込書にて　6月22日（金）までにＦＡＸしてください。

　　　　　　＜注意：定員１２０名になり次第、申込みを締め切らせて頂きます。ご了承おきください。＞

＜講師プロフィール ： 成瀬　暢也（なるせ　のぶや）先生＞

昭和６１年３月　順天堂大学医学部卒業。４月、同大精神神経科入局。大学病院などで研修医として勤務。同大助手を経て、

平成　２年４月　埼玉県立精神保健総合センター開設と同時に勤務。

平成　７年４月　同センター依存症病棟に配属。

平成１４年４月　同センター組織改変にともない、埼玉県立精神医療センターと埼玉県立精神保健福祉センターとなる。

平成２０年１０月より　埼玉県立精神医療センター副病院長（兼　埼玉県立精神保健福祉センター副センター長）

日本アルコール関連問題学会理事（第36回大会長）／日本精神科救急学会評議員／日本アルコール・アディクション医学会評議員／関東甲信越アルコール関連問題学会理事（第1回大会長）／厚生労働省指定薬物部会委員／厚生労働省依存性薬物検討会委員／埼玉ダルク理事／埼玉薬物依存ネットワーク「ＳＡＹＡねっと」代表

【主な著書】

「薬物依存症の回復支援ハンドブック」金剛出版／「誰にでもできる薬物依存症の関わり方」中外医学社

「アルコール依存症治療革命」中外医学社／「依存と嗜癖」医学書院（分担）／「精神疾患の診方と対応」医学書院（分担）

「覚せい剤問題一問一答」合同出版（分担）／「カプラン臨床精神医学テキストメディカルサイエンス社（分担）

「ＤＳＭ－５を読み解く２」中山書店（分担）／「精神科救急ケースファイル」日本精神科救急学会編集（分担）

「危険ドラッグ対応ハンドブック」日本精神科救急学会（編集・分担）

ｌ

主　　　　催　　山陰嗜癖行動研究会

　　　　 　　 代表　竹下　久由（安来第一病院　名誉院長）

＜問い合わせ＞ 事務局　〒690-8506

松江市母衣町200

松江赤十字病院　精神神経科　　担当：板垣　礼美

℡　(0852)24-2111　Fax(0852)31-9783